

## 学長のコラム

フードパルで健康チェックを受けてきました！

5月3日～5日の連休中に、本学のお隣のフードパルにて、「花と食の祭典」が開催され、その内の3日と4日に、本学の学生諸君 20 数名が、健康チェックのボランティアを実施してくれた。別のイベント会場で友人がフルート演奏をすることもあって、妻と会場を訪れた。当日（3日）は、小雨がちで、客足が伸びないのではないかと心配したが、健康チェックの会場は、行列ができるほどに盛況であった。せっかくだからこそとお世話いただいている寺本弘二先生のおすすめで、私も検査を受けることに。体脂肪、内臓脂肪が過多であるとの結果は、いつものことで驚かなかったが、骨密度は若者のそれより 20% 高く、血管年齢も 2 歳若く、嚥下のテスト、脳のテストも合格で、気を良くしてチェックを終えることができた。知り合いである清正製菓（白い貴婦人）の松田社長も、「私も毎年チェックしていただいているのですよ」とありがたいがっておられたので、学生諸君と先生方が毎年、大変良いことをしてくれているなど頭が下がる思いであった。後日、寺本先生に聞いたところ、3日は、寺本先生、松原朱実先生、池寄寛人先生、総務の宇和章子さんと学生 22 名、4日は、山鹿敏臣先生、山本隆敏先生、池寄先生、総務の牛島美弥さんと学生 23 名が、ご協力いただいたとのことでした。ありがとうございました。お疲れ様でした。



ウイスコンシンの早春

## 5月・6月の主な行事予定

5月 3日(日)～	花と食の祭典 2015 フードパル熊本(～4日)
9日(土)	看護学科3年次保護者会
15日(金)	開学記念日(休日)
17日(日)	西里校区グランドゴルフ大会及び健康測定会
19日(火)	県私大協 協議会 KKR ホテル熊本
27日(水)	学校法人銀杏学園理事会・評議員会(化血研会議室)
6月 1日(月)～	コンケン大学交換研修生受入れ(～14日)
6日(土)	脳卒中リハビリテーション看護分野入学試験
20日(土)	学友会主催球技大会
27日(土)	県私大協 親善ボウリング大会

## 杏友会歓送迎会

4月16日(木)に熊本ホテルキャッスルにおいて、杏友会歓送迎会を開催し、142名の教職員が参加しました。

崎元学長より小野前学長を始めとした杏友会退会者へ記念品が授与されました。

今年度の新任者の方々からも一言ずつご挨拶いただき、賑やかな会になりました。



## 看護学科実習認定式

4月2日(木)に看護学科新3年生の実習認定式を開催しました。看護学科3年生は8ヶ月実習が続きます。多くのことを吸収してきて欲しいと思います。



## 科学研究費

平成 27 年度の科学研究費補助金が 6 件新規採択されました。おめでとうございます！（敬称略）

研究種目	氏名	期間	研究課題名	交付予定額 (直接経費)
基盤 C 一般	安部 眞一	H27～H29	3次元培養系による精細管構造の再構築メカニズム	400万円
	飯山 準一	H27～H29	低温サリによる慢性腎疾患の進行抑制効果	370万円
	岩下 佳弘	H27～H29	シフトラン腎症に対する温熱プロテオミクスの効果	370万円
	水本 豪	H27～H29	方略的言語理解の背景要因に関する研究	340万円
	安田 大典	H27～H29	知識偏重の従来型臨床教育と参加型臨床教育(クリニカル・クラークシップ)の比較	140万円
	竹熊 千晶	H27～H30	地域文化に根ざす NPO「ホームホスピス」の公共性と持続可能性	250万円

## 保護者会

4月25日(土)に学部4年生、5月9日(土)に看護学科3年生の保護者会を開催いたしました。2日間の合計で331名の保護者の方々にご参加いただきました。当日は、崎元学長による本学の概況説明の他、各学科の実習・国家試験・就職などの説明を行い、希望される方は担当教員との面談も行いました。保護者の皆さまと教職員が協力して、学生をサポートする思いを共有できる会となりました。ご参加いただきました保護者の皆さま、ありがとうございました。

(文責：就職支援センター)



## 成績優秀者表彰

4月13日(月)に平成26年度成績優秀者表彰式を行いました。医学検査学科及び看護学科は各学年2名ずつ、リハビリテーション学科は各専攻で学年毎に1名ずつ、合計21名の学生が表彰されました。おめでとうございます！今後も引き続き勉学に励み、周りの学生にも良い影響を与えて欲しいと思います。



## ラングシット大学

4月20日(月)～21日(火)に、ラングシット大学(タイ)のPT講師2名が来学されました。既に3月から2か月間、PTの松原講師の元で研究員として受け入れていたChorphaka Damrongthai先生と一緒に崎元学長にお会いいただいた他、リハビリテーション学科の施設見学もされました。

Chorphaka Damrongthai先生の研究も無事に終わり、4月末に帰国されました。



## 私の秘話ヒストリー

今回は、飯山教授に投稿していただきました。

小学校に上がると、單元ごとに簡単なテストがありました。そのテストの一番上にだいたい“力だめしテスト”と書いてあったのです。何も考えなくとも、普通は“ちからだめしですと”と読むのでしょう。ところが、私は“かだめしですと”と読んでしまったのです。勿論“かだめし”の意味はわからない。一文字カタカナで“カ”とは何を意味するのだろう。当然不思議に思いましたが、そもそも自分の身の回りには知らない言葉がありふれていたの、何か知らない意味があるのだろうと、そのまま放ってしまいました。ただ、なんとなく周囲の人に聞くこともためらわれたので、毎度毎度、單元テストがある度に、『なんだ、今日は“かだめしですと”かよ』心の中でだけ、そう読んでいたのです。ところが、五年生になったある日、それは突然に訪れました。『うっ、これはカタカナの“カ”ではない！漢字の“ちから”だったんだ!!』衝撃の発見でした。さすがに五年生ともなると、恥ずかしくて周囲の友達にも告白できずに、35年寝かして、この度晴れて私の秘話として世に出ました。リハビリテーション医学を専門にするようになって、ヒトの脳機能の多様性と不安定性を知りました。不安定性というネガティブに聞こえますが、不安定がゆえに新たなものを生み出すエネルギーにもなる。今では勘違いや思い違いは、新たな視点を与えてくれる大切なきっかけだと思っています。

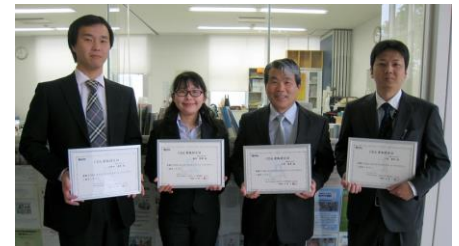
(文責：飯山教授)



## CDA

本学には、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)の資格取得者が現在4名います。就職支援センターの石原センター長、久保田さん、濱本さん、入試広報課の小村さんです。この資格は、個人にとって望ましいキャリアの選択・開発を支援する為のもので、勤務時間外に勉強され、資格取得されました。

これから就職を控える学生にとって、とても心強いサポーターです。



## ふれあい出前講座

例年熊本市からふれあい出前講座の依頼があり、本学ならではの講座を提供しています。ふれあい出前講座とは、地域の団体の方から申込みがあった際に、その都度開講するものです。今年度は以下の講座メニューとなっております。

講師	講座名
石丸 靖二 教授	人になぜ癌ができるのでしょうか?
廣瀬 英治 教授	免疫のふしぎ 免疫のでき方と病気
大澤 早苗 准教授	身体から考える子育てのコツ
渡邊 敏之 准教授	日本人はいかにして虫歯を克服してきたか。～口腔衛生と歯科治療の歴史～
長倉 裕二 教授	誰でもできる介助技術 ～移動・移乗編～
吉田 真理子 准教授	楽しく脳を鍛えよう! 脳も使えば強くなる
小菌 真知子 教授	相手の心に届く言葉のレッスン ～あなたの言葉の力を生かしましょう～